



学校だより

令和7年11月22日

12月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校

一人ひとりが「自分ごと」になる学びを創る

校長 望月 重晴

いよいよ師走を迎える時期となり、校庭の木々も徐々に冬の装いに近づいてきています。子どもたちは寒さに負けず、学習や遊びに元気いっぱい取り組んでいます。

さて、11月22日（土）、本校では「一人ひとりが『自分ごと』になる学びを創る」をテーマに、生活科と総合的な学習の時間（なかまの時間）の公開授業研究会を開催しました。当日は、横浜市内をはじめ県外からも多くの方にお越しいただ

き、200名を超える参加がありました。本校では長きにわたり、生き生き日枝っ子を目指し研究を進めています。生活科では、身近な自然や地域の人々との関わりを通して、自分の生活を見つめ直す学びを進めました。総合的な学習の時間では、子どもたちが自ら課題を見つけ、調べ、考え取り組もうとする姿が見られました。どの授業でも、子どもたちは、地域や自然、人とのつながりの中から「なぜだろう」「もっと知りたい」「こんなことに挑戦したい」という気持ちを持ち、友達と意見を交わしながら学びを深める場面が印象的でした。

私は、学びとは「自分の人生とつながること」だと考えています。知識を覚えるだけでなく、学んだことを自分の生活や未来に結びつけることで、子どもたちは学びに意味を感じます。そして、その積み重ねが「未来を生き抜く力」になります。変化の激しい社会を生きる子どもたちにとって、必要なのは答えを一つ覚える力ではなく、問いを立て、考え、仲間と協働しながら解決していく力です。今回の研究会では、先生方が「子どもたちが主体的に学ぶために、どんな問いを投げかけるか」「どんな場をつくるか」を今の子どもたちの姿から真剣に話し合いました。こうした対話を重ねることが、子どもたちの学びをより豊かにし、未来を切り拓く力につながると信じています。

日枝小学校が目指す子どもの姿を求めて研究を進めることができるのは、保護者の方や地域の方々のご理解をいただけたからにはほかなりません。今後も、私たち大人が、その芽を育てる環境を整え、挑戦を支えることができるよう子どもたちとともに未来を創る学校づくりに全力で取り組んでまいります。どうぞ良いお年をお迎えください。



各学級の取組



ある学級の学びの足跡